

計画段階評価
第3回 説明資料

目 次

1. 計画段階評価の検討の流れ	・ ・ ・	1
2. 第2回意見聴取の結果	・ ・ ・	5
3. 対応方針（原案）の検討	・ ・ ・	27
4. 自治体への意見照会結果	・ ・ ・	33
5. 対応方針（案）のまとめ	・ ・ ・	35

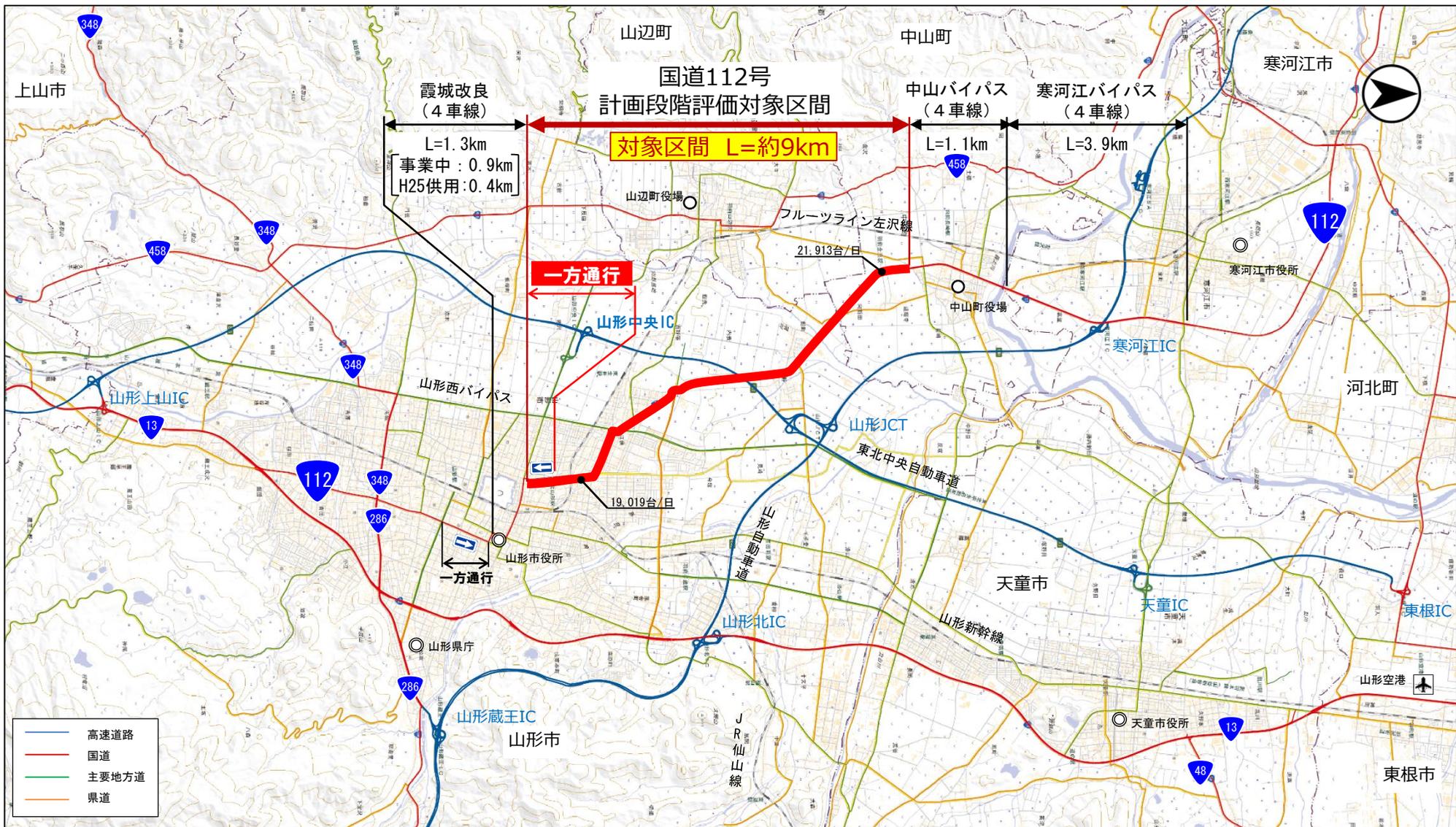
国土交通省 東北地方整備局

平成31年2月15日

1. 計画段階評価の検討の流れ

1-1. 評価対象区間

- 対象地域の幹線道路網は、東西には山形自動車道、国道112号、286号、348号、南北には東北中央自動車道、国道13号、山形西バイパスが伸びる。
- 対象区間は2車線であり、起点側は4車線化の霞城改良が事業中、終点側は中山バイパスが4車線で整備済みである。



1-2. 前回審議内容

◇社会資本整備審議会 道路分科会 東北地方小委員会の概要

実施日：平成30年3月9日（金）開催

主な議事：

- ①第1回意見聴取の結果について
- ②対応方針（ルート帯案）について
- ③地域の意見聴取（第2回）の方法について

◇前回審議にあたって主な指摘事項と対応状況

指摘事項		対応状況
【ルート帯案について】		
整備 所要 時間	・ 対策案の比較において、事業予定期間の違いが分かるような表記を検討されたい	・ 整備までに要する時間を明記することは困難であるため、対策案の比較において事業予定期間がイメージできるよう「影響する家屋数」を表記した（⇒P30）
	・ バイパスの場合、現道引き渡しの際に生じる改良費用について比較表へ記載することを検討されたい	・ 現道対策の内容については、アンケートに「※A案、B案のコストについては、バイパス区間に並行する現道の対策費用は含まない」と記載した ・ なお、バイパス整備の場合に、現道課題が残存する懸念がある箇所について、想定される改良の概略検討・概算費用の算出を行い、比較表のコストに大きな変動が生じないことを確認した
【意見聴取方法について】		
質問 内容	・ ソフト対策として、他経路への誘導策等も考えられるため、2回目アンケートでは回答者の通勤先を確認されたい	・ 利用目的が「通勤・通学」の方には、通勤・通学先を尋ねる質問を追加（⇒P10）
	・ 1回目アンケートで歩行者や自転車利用の方々からの意見が十分に回収できているか確認してほしい。場合によっては2回目アンケートの回収方法を検討されたい	・ 1回目アンケート結果において、回答者の利用交通手段における歩行者、自転車の割合は、対象区間の交通実態より高い比率で回答を頂けている状況を確認した（⇒P11） ・ また、教育機関へのヒアリング調査にて、歩行者、自転車の利用実態に関わる意見も聴取（⇒P6）

1-3. 計画段階評価の進め方

◇今後の計画段階評価手続きの進め方、スケジュール

(今回)

【平成29年3月7日】

東北地方小委員会
(第1回)

- 計画段階評価手続きの進め方、スケジュール (案)
- 地域、道路の状況と課題
- 政策目標案の設定
- 意見聴取方法

【平成29年9月15日
~10月13日】

意見聴取
(第1回)

- 地域、道路の課題
- 求められる道路機能
- 意見聴取方法
《アンケート》
対象者：地域住民
道路利用者
企業
- 《ヒアリング》
対象者：企業 等

【平成30年3月9日】

東北地方小委員会
(第2回)

- 第1回意見聴取結果の確認
- 政策目標の設定
- 評価項目の設定
- 比較ルートの設定等

【平成30年6月14日
~8月3日】

意見聴取
(第2回)

- 対策案選定時に重視する政策目標・配慮事項
- 第2回意見聴取方法
《アンケート》
対象者：地域住民
道路利用者
企業
- 《ヒアリング》
対象者：企業 等

【平成31年2月15日】

東北地方小委員会
(第3回)

- 第2回意見聴取結果の確認
- 対応方針 (案) の検討
- 対応方針 (案) のまとめ

(道路が通る概ねのルート)
対応方針の決定

地 方 小 委 員 会

2. 第2回意見聴取の結果

- ①新聞広告 : 山形県で発行部数の多い新聞にアンケートへの協力を呼びかける広告を掲載
- ②ホームページ : 国土交通省山形河川国道事務所、山形県、山形市、寒河江市、山辺町、中山町のホームページにアンケート調査を案内
- ③ラジオ番組で協力依頼 : 県内放送のAM、FMおよび山形市と周辺市町村で放送されるコミュニティ放送局各局で1日3回30~40秒の協力依頼を7月6日~8日、8月1日~3日の6日間実施(計54回)
- ④地域への情報提供 : 山形市、寒河江市、山辺町、中山町発行の広報誌でアンケート調査の案内を行うとともに、道の駅寒河江、山形県村山総合支庁、山形市役所、寒河江市役所、山辺町役場、中山町役場へのアンケートブース設置

①新聞広告 (7/6掲載・山形新聞(朝刊))

国道112号(山形市城北~中山町達磨寺間)の計画検討に関するアンケート調査を実施しています

公共事業の効率性及びその実施過程の透明性の一層の向上を図るため、アンケート調査を実施します。このアンケートは、山形市城北~中山町達磨寺の様々な課題に対応する計画策定にあり、地域の皆様のご意見を頂くための第2回の調査です。第2回アンケート(今回)では、対策案(ルート案)を検討していく上での留意事項(重視すべき項目)について、ご意見をお聴きします。

アンケート実施期間 平成30年8月3日(金)まで

アンケート回答方法

連絡はがき ◆山形市、寒河江市、山辺町、中山町にお住まいの方 ◆その他の地域にお住まいの方	インターネット ◆検索サイトやスマートフォンから ◆新聞掲載のホームページから
-----------------------------------------------------	-----------------------------------------------

お問い合わせ先 国土交通省 東北地方整備局 山形河川国道事務所 調査第二課
 〒990-9580 山形県山形市成沢西四丁目3-55 ☎023-888-8940 <http://www.thr.mll.go.jp/yamagata/>

②アンケートページへのリンクページを掲載

<山形市>

<中山町>

<山辺町>

国道112号(山形市城北~中山町達磨寺間) アンケート実施中

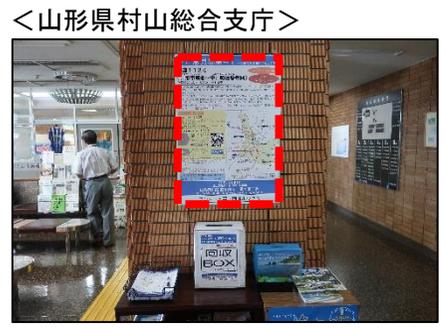
平成30年 金 8月3日 まで

山形河川国道事務所のホームページより回答が可能です。
[インターネットによる回答はこちら](#)

④地域への情報提供

- 広報誌での案内
- <山形市>
- <中山町>

●アンケートブース設置



「ご意見募集中」 ご協力をお願いします。

国道112号(山形市城北~中山町達磨寺間)の計画検討に関するアンケート調査

実施期間 平成30年 8月3日(金)まで

インターネットによる回答

アンケート票・回収ボックス

2-3. 第2回意見聴取の結果 住民アンケート

- 総回答数は25,897件であり、郵送配布の回収率は10.1%であった。
- 回答者の居住地は第1回意見聴取と同様の傾向であった。
- 年齢では幅広い年代から意見が得られており、職業では、会社員、団体職員が約4割、性別では男性が約6割と多く、第1回アンケートと大きな差異はない。

回収率

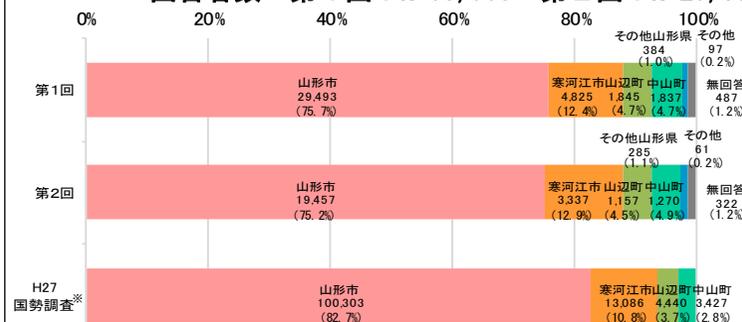
調査票形式	第1回意見聴取			第2回意見聴取		
	配布数	回収数	回収率	配布数	回収数	回収率
郵送配布	135,696※ (271,392)	22,794※※ (37,566)	16.8%	138,231※ (276,462)	13,912※※ (24,680)	10.1%
WEBアンケート	—	875	—	—	919	—
留置きアンケート	—	527	—	—	298	—
住民アンケート合計	—	38,968	—	—	25,897	—

※アンケートは対象地域に全戸配布
 ※※アンケート調査票には回答ハガキを2枚同封
 回収数は、配布部数のうち1枚目の回収数、括弧内は1枚目・2枚目の合計の回収数

回答属性

回答者の属性

【居住地】 回答者数 第1回：N=38,968 第2回：N=25,897

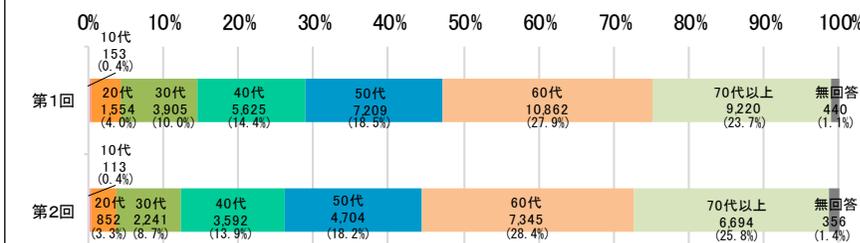


■その他山形県の内訳

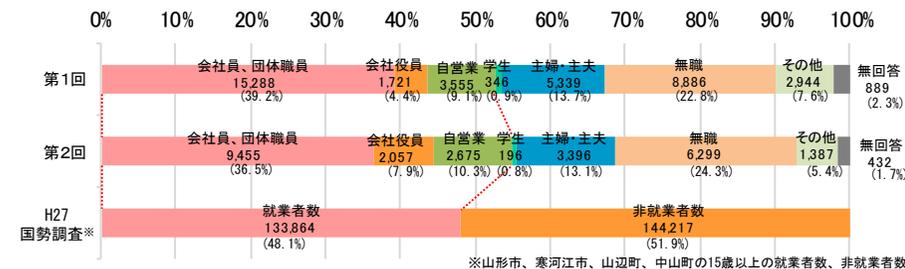
地域	第1回	第2回
天童市	114人	93人
上山市	72人	56人
東根市	60人	19人
村山市	42人	7人
河北町	32人	44人
西川町	25人	16人
大江町	24人	45人
朝日町	15人	13人

※国勢調査の世帯数比率は山形市、寒河江市、山辺町、中山町の4市町の比率

【年齢】

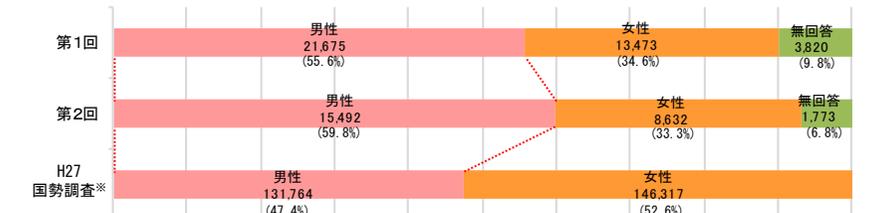


【職業】



※山形市、寒河江市、山辺町、中山町の15歳以上の就業者数、非就業者数

【性別】



※山形市、寒河江市、山辺町、中山町の15歳以上の性別

※四捨五入の関係で構成比の合計が100%にならない場合がある。

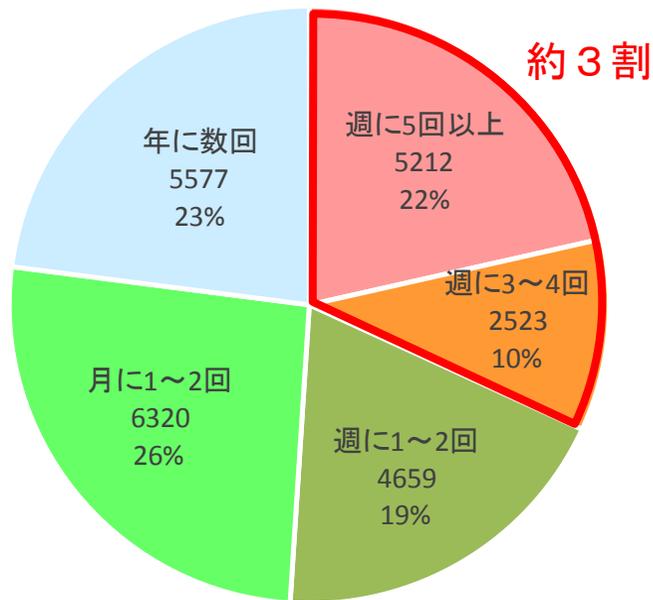
2-3. 第2回意見聴取の結果 住民アンケート

- 国道112号の利用頻度は、全体では週に3回以上の頻度で日常的に利用している方が約3割を占める。
- 地域別にみると、週に3回以上利用する割合は、中山町は約6割と最も高く、次いで山辺町、寒河江市の順である。

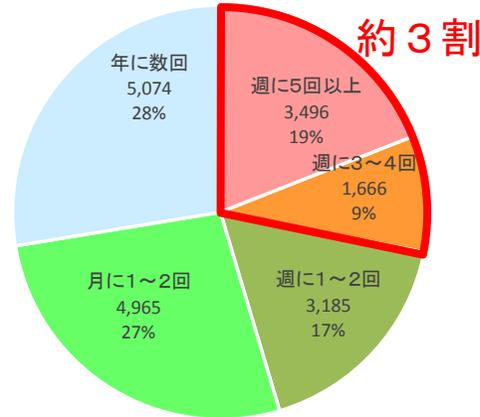
利用頻度

【質問①-1】国道112号をどのくらいの頻度で利用しますか？

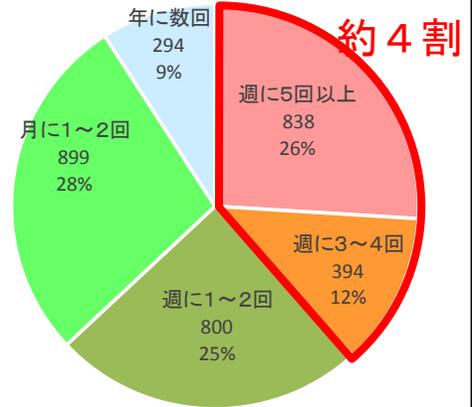
【全体】 回答者数 N=24,291



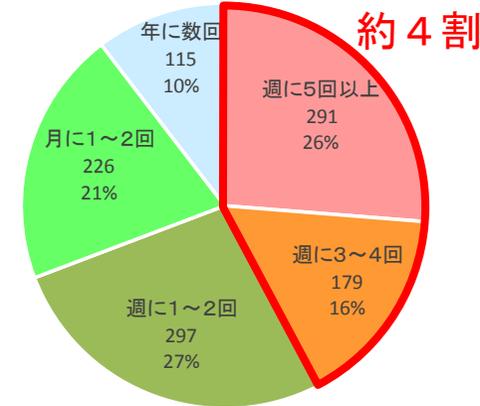
【山形市】 回答者数 N=18,386



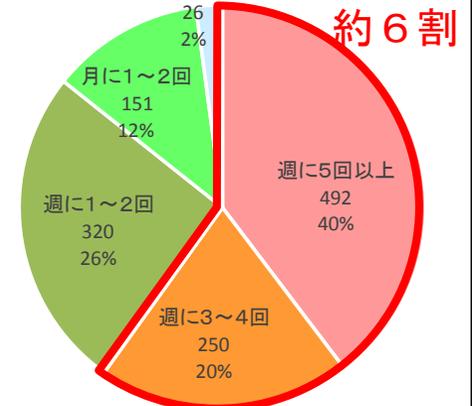
【寒河江市】 回答者数 N=3,225



【山辺町】 回答者数 N=1,108



【中山町】 回答者数 N=1,239

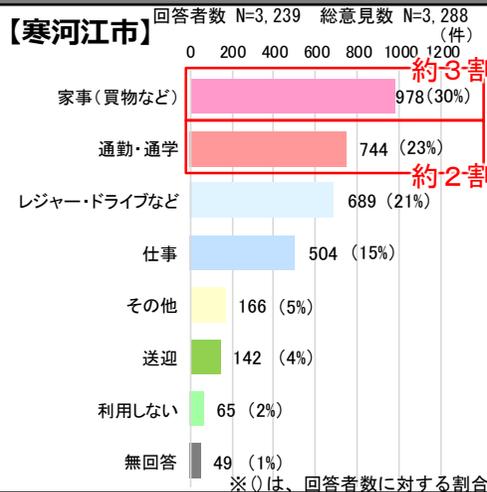
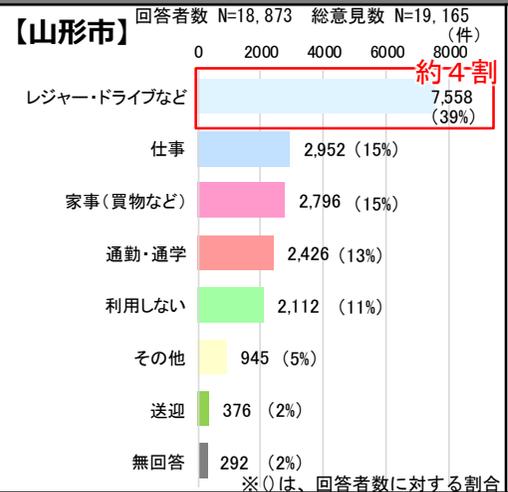


※四捨五入の関係で構成比の合計が100%にならない場合がある
※無回答は除く

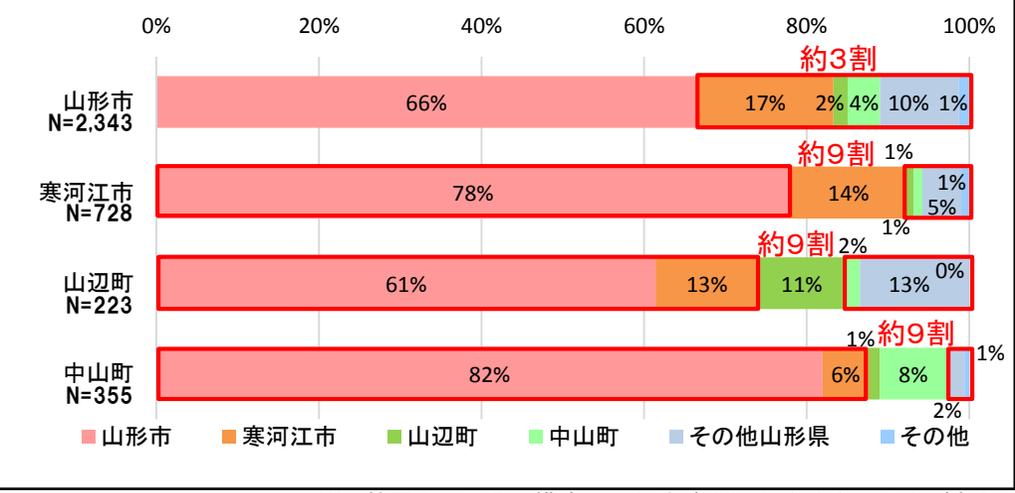
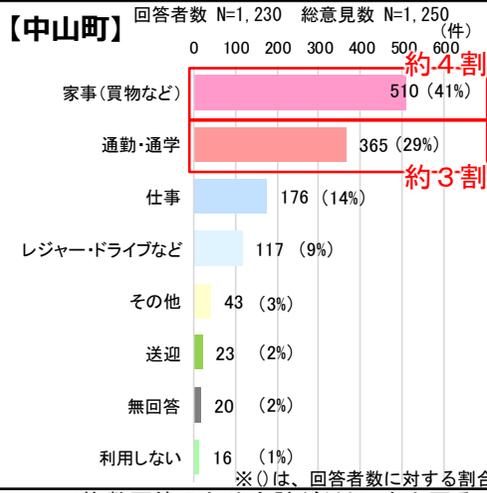
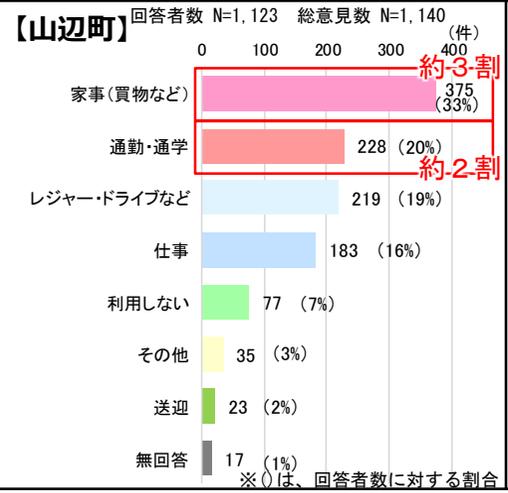
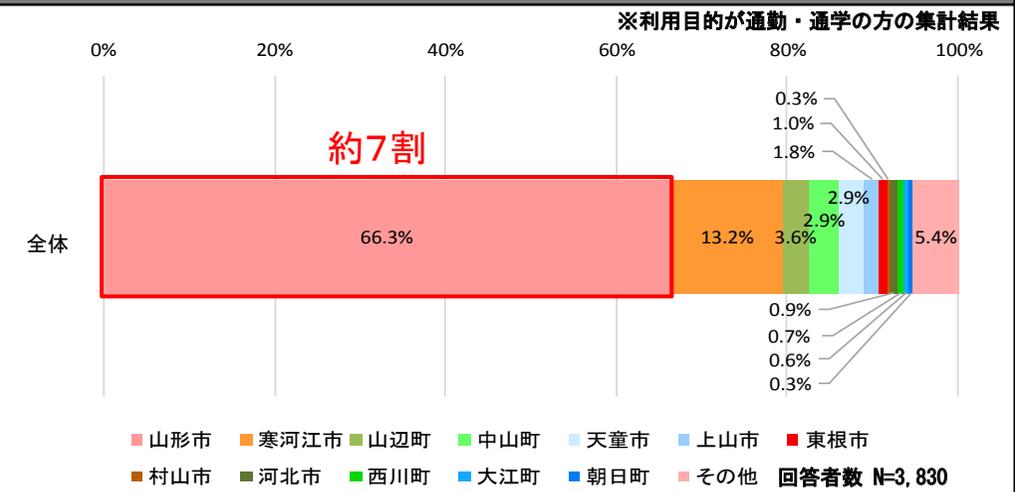
- 利用目的を地域別に着目すると、山形市は「レジャー・ドライブなど」非日常時の利用割合が高い一方、寒河江市、山辺町、中山町は、「家事」、「通勤・通学」など日常の利用の割合が高い。
- 通勤・通学者の通勤・通学先は、全体では山形市が7割を占めている。地域別でみると、自市町以外に通勤・通学している方の割合は、寒河江市、山辺町、中山町で約9割を占め、地域間の移動の割合が高い。

利用目的、通勤・通学先

【質問①-2】国道112号の主な利用目的は何ですか？ ※複数回答可



【質問①-3】通勤・通学先の所在地を教えてください。※



※複数回答のため合計が100%を上回る

※四捨五入の関係で構成比の合計が100%にならない場合がある

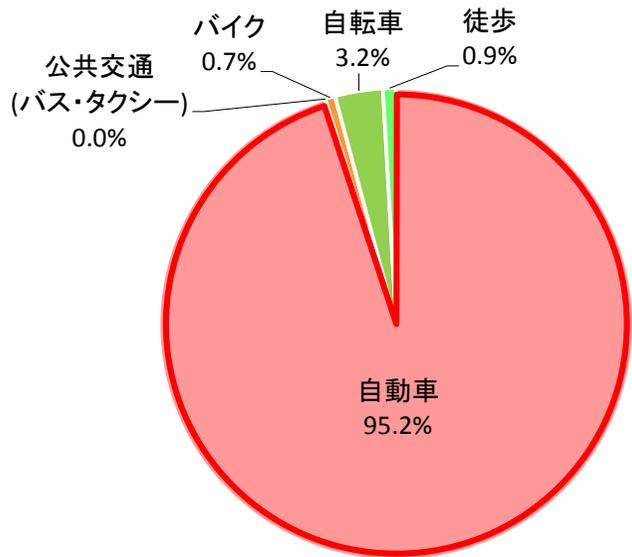
2-3. 第2回意見聴取の結果 住民アンケート

○移動手段は、「自動車利用」が約9割以上を占めており、対象区間の交通実態と比較すると同様の比率である。

利用手段

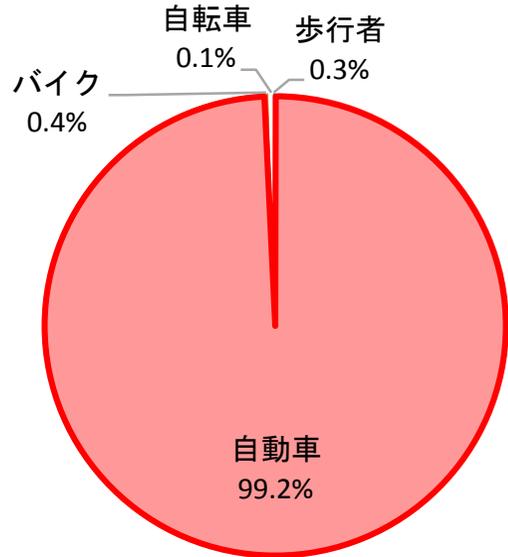
【質問①-4】国道112号（山形市城北～中山町達磨寺）の主な移動手段を教えてください。

【アンケート回答者の利用交通手段の比率】



回答者数 N=24,405

【参考：対象区間の交通機関別交通量の比率】



歩行者交通量 : 49人/12時間
 自転車交通量 : 19台/12時間
 自動二輪交通量 : 53台/12時間
 自動車交通量 : 14,960台/12時間

出典：平成17年度道路交通センサス
 (観測地点：国道112号山形市内表)

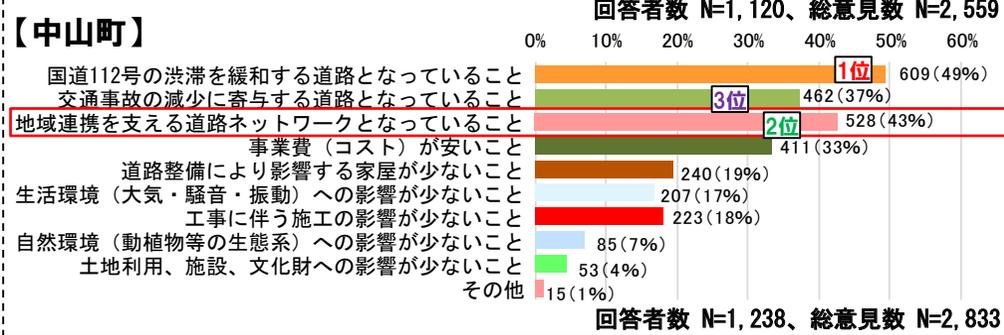
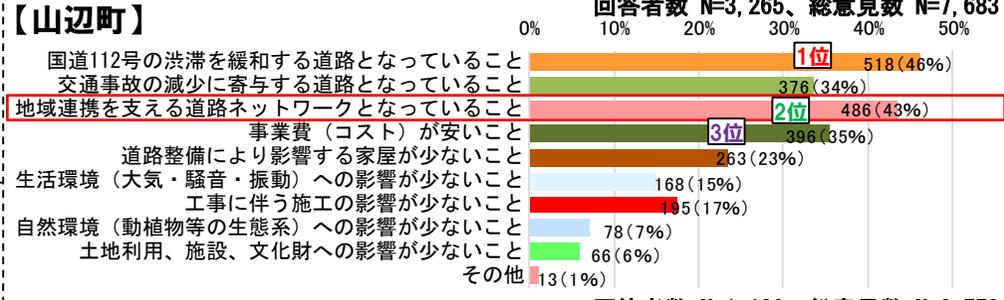
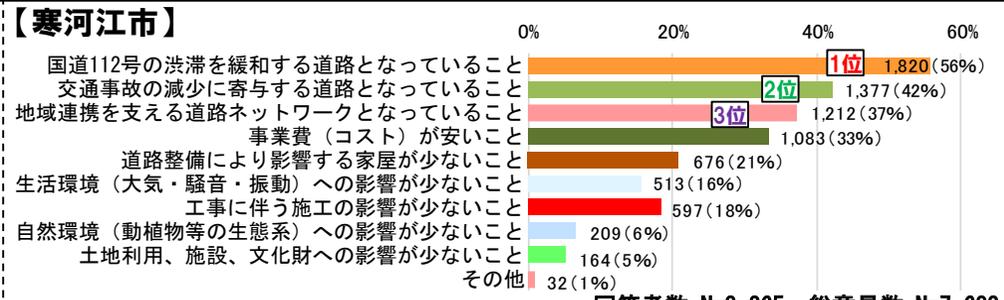
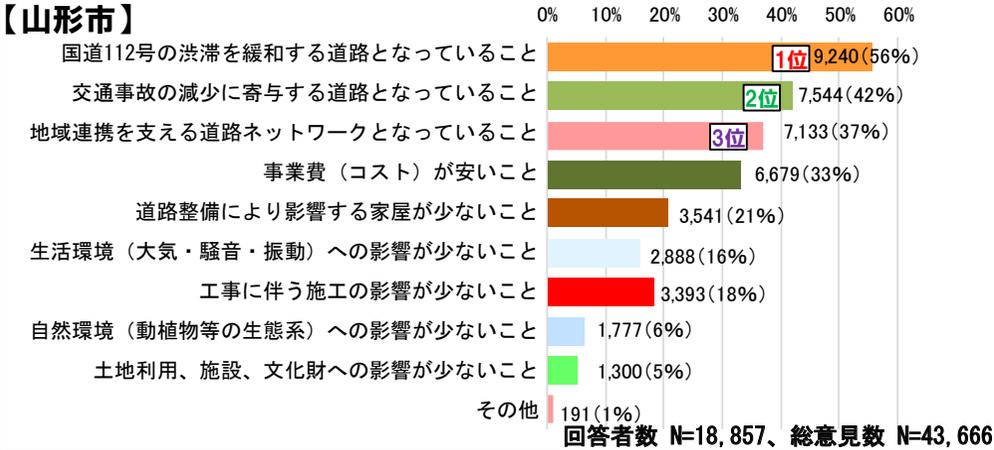
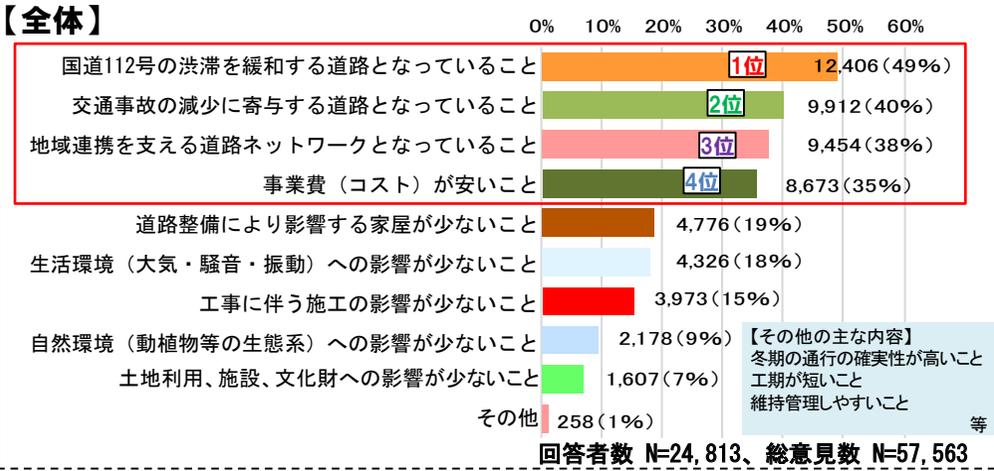
※複数回答については無効回答とした

- 地域にとって望ましい案を選ぶ際に重視すべき項目は、「国道112号の渋滞を緩和する道路となっていること」が最も多く、次いで「交通事故の減少に寄与する道路となっていること」、「地域連携を支える道路ネットワークとなっていること」、「事業費（コスト）が安いこと」が多い。
- 地域別でみると、山辺町・中山町は、「地域連携を支える道路ネットワークとなっていること」が多い傾向。

重視すべき項目

※複数回答のため合計が100%を上回る

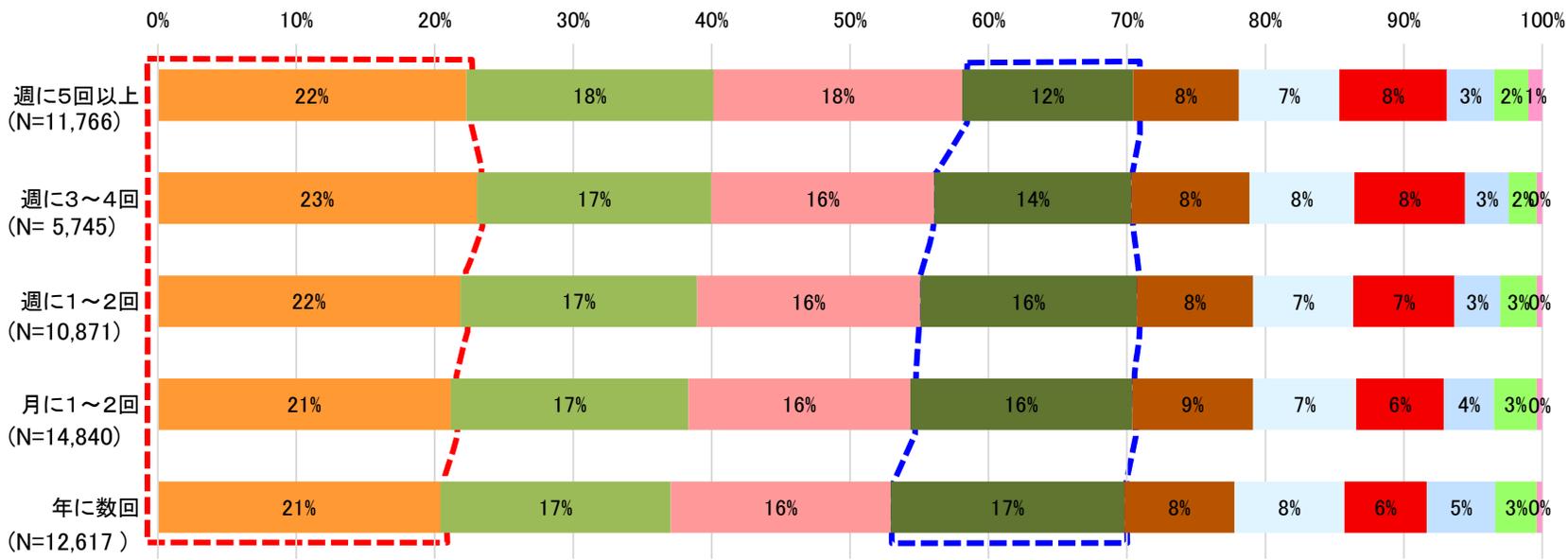
【質問②】今回、ルート帯案を検討していますが、地域にとって望ましい案を選ぶ際に重視すべき項目はどれだと思われますか？ ※3つまで☑をつけてください



○利用頻度にかかわらず、「国道112号の渋滞を緩和する道路となっていること」を重視する回答が最も多い。
 ○利用頻度が低いほど、「事業費（コスト）」を重視する回答が多い傾向。

【質問②】 地域にとって望ましい案を選ぶ際に重視すべき項目に関するクロス集計

【利用頻度×重視すべき項目】
 ※重視すべき項目は複数回答



- 国道112号の渋滞を緩和する道路となっていること
- 交通事故の減少に寄与する道路となっていること
- 地域連携支える道路ネットワークとなっていること
- 事業費（コスト）が安いこと
- 道路整備により影響する家屋が少ないこと
- 生活環境（大気・騒音・振動）への影響が少ないこと
- 工事に伴う施工の影響が少ないこと
- 自然環境（動植物等の生態系）への影響が少ないこと
- 土地利用、施設、文化財への影響が少ないこと
- その他

2-3. 第2回意見聴取の結果 住民アンケート

○重視すべき項目に関して、渋滞緩和、交通安全の確保、地域連携を支える道路ネットワークの強化、コストについて具体的な意見を頂いた。

【質問③】質問②でチェックした項目について、今後具体的なルートを検討する際に配慮すべき事項があれば、具体的にお聞かせ下さい。 ※自由記述

■主な意見

分類	住民アンケートによる主な意見の具体例
国道112号の渋滞を緩和する道路となっていること	<ul style="list-style-type: none"> ・ 渋滞なく、スムーズな流れで走行できるように整備をして欲しい（山形市/60代男性） ・ 冬になると、大変渋滞し通勤時間が非常にかかる、冬期も円滑に走行できるルートを望む（山形市/40代女性）
交通事故の減少に寄与する道路となっていること	<ul style="list-style-type: none"> ・ 車道・歩道共に余裕のある道路幅にしてほしい（山辺町/50代男性） ・ 通学路の安全性には車輛の減少が必要。狭いところを長期間かけて見直すより、交通量の減少を（山形市/60代男性）
地域連携を支える道路ネットワークとなっていること	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人口が減少している中、各地域の連携がスムーズになり、地域全体で進展して行ければと思います。（山形市/60代男性） ・ 地域のネットワーク強化を目標にして進めて欲しい（山形市/50代男性）
事業費（コストが安いこと）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 維持管理は今後もっとコストがかかってくることから、いかにコストを削減するか最も大切だと思う（山形市/50代男性） ・ できるだけコストをおさえ、費用対効果を念頭において検討してほしい（山形市/30代男性）
道路整備により影響する家屋が少ないこと	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域住民に極力影響が少なく実施される事を望む（中山町/70代男性） ・ 市街地、住宅街を避けてバイパスで行う事が望ましい（山形市/20代女性）
生活環境（大気・騒音・振動）への影響が少ないこと	<ul style="list-style-type: none"> ・ クルマの騒音や振動が少なくなるルートを望む（山形市/70代女性） ・ 生活環境への影響がより少ないようなルートを検討してほしい（山形市/70代男性）
工事に伴う施工の影響が少ないこと	<ul style="list-style-type: none"> ・ 工事が長期化し、渋滞が起こるのはやめてほしい（山形市/20代女性） ・ 工事中スムーズに通り返られる様に、工事中危険が出ない様に配慮してほしい（山形市/60代女性）
自然環境（動植物等の生態系）への影響が少ないこと	<ul style="list-style-type: none"> ・ コストがかかっても、自然環境への影響を十分に考慮してもらいたい（寒河江市/20代男性） ・ 優良田園を後世に残すよう工夫願います（山形市/50代男性）
土地利用、施設、文化財への影響が少ないこと	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域にとって大切な施設や文化財などは残すように（寒河江市/70代女性） ・ 文化財の有無などを事前に調査していただきたい（山形市/30代女性）

※1人の回答者が複数の分類に関する記載をしている場合もあるため、各分類の回答者は重複することがある

○その他の意見では「渋滞」、「早期整備」、「整備方針」、「交通安全」に関する現道の課題や整備する際の要望を頂いた。

【質問④】これまでの質問以外に、意見がありましたらお聞かせ下さい。 ※自由記述

■ 主な意見

総意見数 N=5, 174

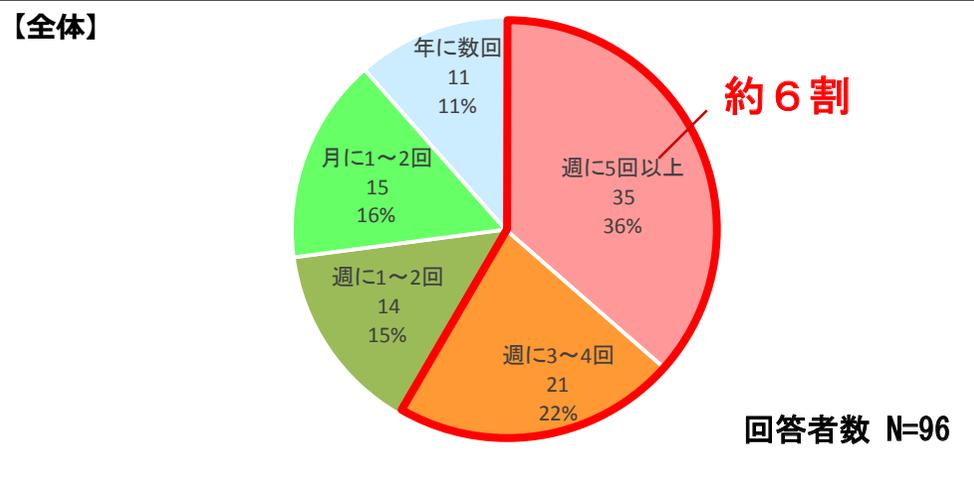
分類	住民アンケートによる主な意見の具体例
渋滞に関する意見 1,190件	<ul style="list-style-type: none"> ・ 混雑する箇所を回避できる道路にしてほしい（山形市/60代男性） ・ 特に冬期間の渋滞がひどいので、早期に改善して欲しい（山形市/50台女性）
早期整備に関する意見 1,120件	<ul style="list-style-type: none"> ・ 影響する家屋が多く、用地買収等で工事が長期化するのをやめてほしい（山形市/40代男性） ・ 工事期間が渋滞するため工期短縮でおねがいします（山形市/50代男性）
整備方針に関する意見 1,113件	<ul style="list-style-type: none"> ○ A案「バイパス案」への肯定的な意見 755件 <ul style="list-style-type: none"> ・ バイパスが整備された後は現道は生活道路としての機能が充足され生活しやすさが向上すると思う（山辺町/70代男性） ○ B案「部分バイパス案」への肯定的な意見 45件 <ul style="list-style-type: none"> ・ 市内における112号の渋滞緩和策はB案の部分バイパスが最適と思う（山形市/60代女性） ○ C案「現道改良案」への肯定的な意見 55件 <ul style="list-style-type: none"> ・ 新しい道路を造るより現道を拡幅すれば良い。町の活性化になる（中山町/70代女性） ○ その他の道路構造等に関する意見 278件 <ul style="list-style-type: none"> ・ 長期展望にたつて、道路幅や車線数などを検討してほしい（山形市/70代男性）
現道の交通安全に関する意見 949件	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人家が密集したところを通るのは歩行者・自転車との錯綜があり危険だと思う（山形市/60代女性） ・ 現状の道路は狭いところも多く自動車走行の際、事故に注意する必要がある（山形市/60代女性）
コストに関する意見 520件	<ul style="list-style-type: none"> ・ コストについては、供用後のメンテナンスコスト、除雪費等についても考慮してほしい（山形市/40代男性） ・ 家屋の移転等の費用のかからないルートを考えるべき（山形市/70代女性）
冬期の交通状況改善に関する意見 350件	<ul style="list-style-type: none"> ・ 冬期、除雪がしやすいような道路であってほしい。（山形市/40代女性） ・ 子供が通学に使用していますが、冬、歩道がまったくなくなります。歩道拡幅希望です（山形市/30代女性）
山形市街地南側の混雑に関する意見 172件	<ul style="list-style-type: none"> ・ 街づくりや国道112号のあり方について今回の検討区間の南側についても早期の検討が必要（山形市/50代男性） ・ 西バイパスの渋滞緩和策の検討を願いたい（寒河江市/60代男性） ・ 西バイパスを経由しないで山形市南部エリア、将来的には上山方面に抜けられたら便利だと思う（山形市/50代男性）
防災に関する意見 108件	<ul style="list-style-type: none"> ・ 災害時における応援・受援のためにも須川を横断できる橋が増えるバイパス案は良い（山形市/50代男性）
整備に否定的 96件	<ul style="list-style-type: none"> ・ 年々人口が減少して行く中で、これ以上新しい道路は必要なのか疑問（山形市/40代男性）
その他 644件	<ul style="list-style-type: none"> ・ 山形市内に道の駅がないので作ってほしい（寒河江市/30代男性） ・ 高齢化に伴う公共交通機関の充実を希望します（山形市/60代女性）

※1人の回答者が複数の分類に関する記載をしている場合もあるため、各分類の回答者は重複することがある

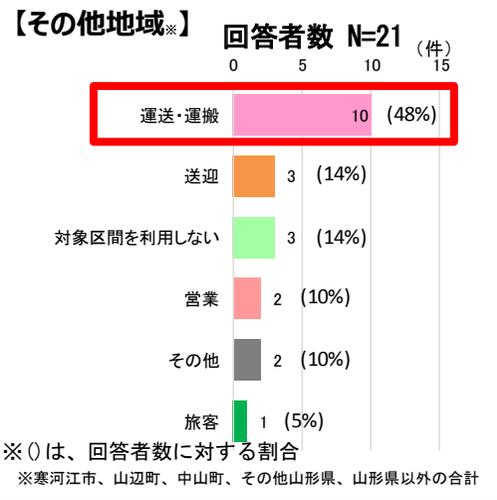
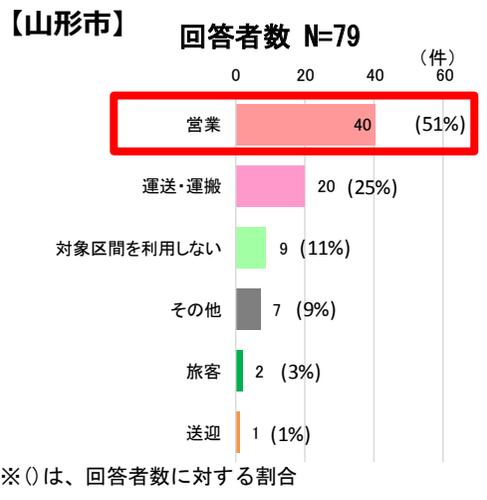
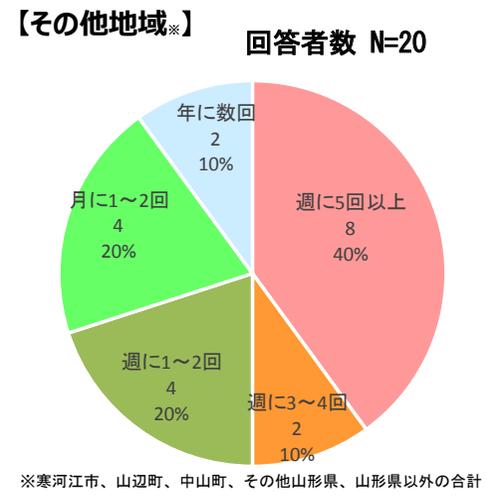
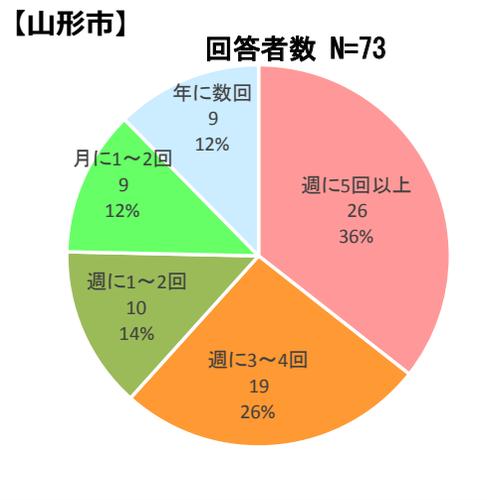
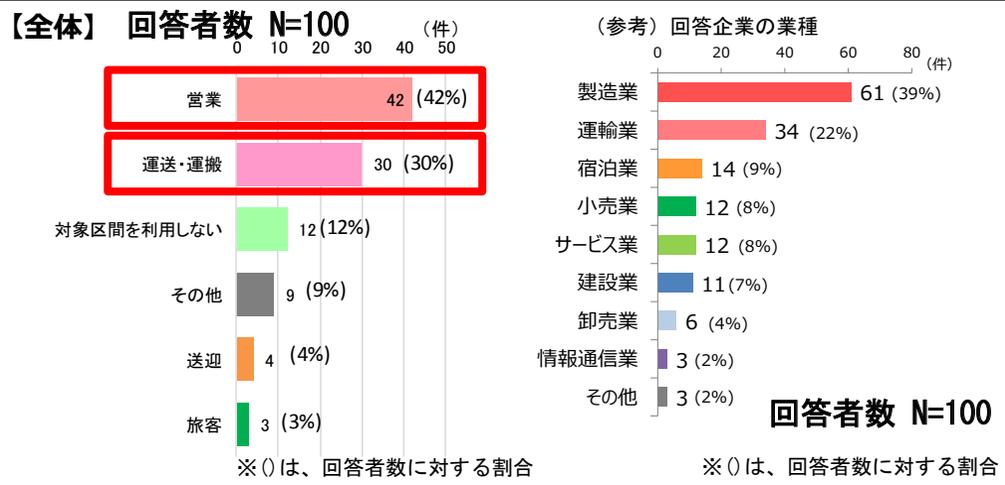
- 企業・団体アンケートでの国道112号の利用頻度は、全体では約6割が週に3回以上利用すると回答。
- 利用目的では、山形市で「営業」が最も多く、その他地域では「運送・運搬」が最も多く、それぞれ約5割を占める。

利用頻度、利用目的

【質問①-1】国道112号をどのくらいの頻度で利用しますか？



【質問①-2】国道112号の主な利用目的は何ですか？ ※複数回答可



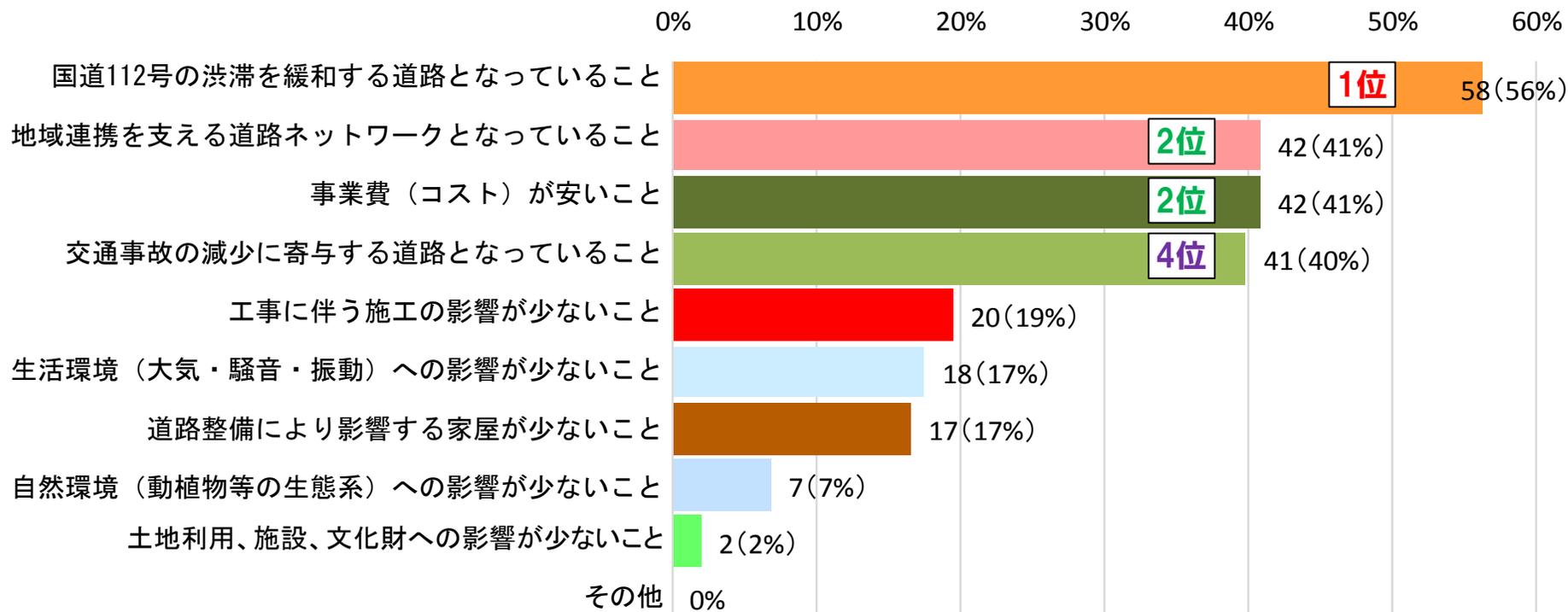
※四捨五入の関係で構成比の合計が100%にならない場合がある
※無回答は除く

※複数回答のため合計が100%を上回る場合がある

○地域にとって望ましい案を選ぶ際に重視すべき項目では、「国道112号の渋滞を緩和する道路となっていること」が最も多く、次いで「地域連携を支える道路ネットワークとなっていること」、「事業費（コスト）が安いこと」、「交通事故の減少に寄与する道路となっていること」が多い。

重視すべき項目

【質問②】 今回、ルート帯案を検討していますが、地域にとって望ましい案を選ぶ際に重視すべき項目はどれだと思われますか？ ※3つまで☑をつけてください



回答者数 N=100
総意見数 N=247

※ () は、回答者数に対する割合

※複数回答のため合計が100%を上回る

2-4. 第2回意見聴取の結果 企業・団体アンケート

○重視すべき項目に関して、地域のネットワークの強化による経済活性化、渋滞緩和、通学時の安全性確保、工事に伴う影響について具体的な意見を頂いた。

【質問③】質問②でチェックした項目について、今後具体的なルートを検討する際に配慮すべき事項があれば、具体的にお聞かせ下さい。 ※自由記述

■主な意見

分類	企業・団体アンケートによる主な意見の具体例
国道112号の渋滞を緩和する道路となっていること	<ul style="list-style-type: none"> ・ 朝夕の渋滞が特に激しいため、通勤時間の渋滞を緩和する道路を整備してほしい（山形市/製造業） ・ 渋滞なくスムーズに通行できる道路を整備してほしい（山形市/サービス業）
地域連携を支える道路ネットワークとなっていること	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域間の移動の利便性向上により、双方の経済活性化につながるようにしてほしい（山形市/運輸業）
事業費（コスト）が安いこと	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業費削減に配慮してほしい（山形市/製造業） ・ 少子高齢化、財政状況を見据えた建設が必要と考える（山形市/製造業）
交通事故の減少に寄与する道路となっていること	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子供の通学の際の安全性を確保してほしい（山形市/サービス業）
工事に伴う影響が少ないこと	<ul style="list-style-type: none"> ・ 工事中の交通規制があまりないようにしてほしい（山形市/運輸業） ・ 工事中、近隣への影響がないようにしてほしい（山形市/運輸業）
生活環境（大気・騒音・振動）への影響が少ないこと	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子供の施設への排ガス等の影響が少ないようにしてほしい（山形市/製造業）
道路整備により影響する家屋が少ないこと	<ul style="list-style-type: none"> ・ 住宅が並んでいる所の工事が大変なので避けてほしい（山形市/製造業）

※1人の回答者が複数の分類に関する記載をしている場合もあるため、各分類の回答者は重複することがある

2-4. 第2回意見聴取の結果 企業・団体アンケート

○その他の意見では「早期整備」、「冬期の交通状況」に関する意見を多く頂いた。

【質問④】これまでの質問以外に、意見がありましたらお聞かせ下さい。 ※自由記述

■主な意見

総意見数 N=12

分類	企業・団体アンケートによる主な意見の具体例
早期整備に関する意見 3件	<ul style="list-style-type: none"> ・ 早期着工、実現をお願いしたい（山形市/建設業） ・ 予算もあるので、完成までの時間を出来るだけ短く（早く）をお願いしたい（山形市/製造業） ・ 早期実現を望みます（寒河江市/建設業）
冬期の交通状況改善に関する意見 3件	<ul style="list-style-type: none"> ・ 冬のことも考えて広い道路が必要である（山形市/製造業） ・ 渋滞（特に冬）が多く発生するので緩和するようお願いしたい（山形市/運輸業） ・ 雪国なので冬期を考慮した道路にしてほしい（山形市/その他）
交通安全に関する意見 1件	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自転車マナーの向上を図ってほしい（無回答）
事業費（コスト）に関する意見 1件	<ul style="list-style-type: none"> ・ お金のかからない道路にしてほしい（山形市/その他）
整備に否定的 2件	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今、税金が使われる事業は道路ではない（山形市/その他サービス業） ・ 国道112号を利用しないので整備は必要ない（山形市/製造業）
その他 3件	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国道112号の整備と同時に山形市内に出入りする東西線を新たに増設することを希望する（山形市/その他） ・ 山形市街地の国道112号の改良が先と思う（中山町/製造業） ・ 現道は県に移管し、交通の主力となる幹線道路を国で整備すべき（山形市/運輸業）

※1人の回答者が複数の分類に関する記載をしている場合もあるため、各分類の回答者は重複することがある

○「渋滞の緩和」に関する意見は、8業種すべてであげられ、重視すべき項目である。
 ○「地域連携を支える道路ネットワーク」「交通事故の減少」に関する意見についても、8業種中7業種であげられ、重視すべき項目である。

業種 分類		自治体	経済団体・ 地元企業	観光協会	物流事業者	バス、タクシー 協会・運輸事 業者	教育機関	警察機関	消防機関
		政策目標	地域連携支える道路ネットワークとなっていること	●	—	●	●	●	●
国道112号の渋滞を緩和する道路となっていること	●		●	●	●	●	●	●	●
交通事故の減少に寄与する道路となっていること	●		●	—	●	●	●	●	●
道路整備による影響	土地利用、施設、文化財への影響が少ないこと	—	●	—	—	—	●	—	—
	生活環境(大気・騒音・振動)への影響が少ないこと	●	—	—	—	—	●	—	—
	自然環境(動植物等の生態系)への影響が少ないこと	—	—	—	—	—	—	—	—
	工事に伴う施工の影響が少ないこと	—	—	●	—	●	●	—	—
	道路整備により影響する家屋が少ないこと	—	—	—	—	●	—	—	—
	事業費(コスト)が安いこと	—	●	—	●	—	—	—	—

凡例
 ●：言及あり —：言及なし

2-5. 第2回意見聴取の結果 企業・団体ヒアリング

21

- 地域の道路ネットワークの強化、渋滞の緩和、交通安全、冬期の交通状況の改善など、アンケート結果と同様の意見を頂いた。
- 地域の課題や期待について、地域として道路課題の解消を望んでいる声が多くみられた。

分類	企業ヒアリングからの主な意見
地域の道路ネットワークの強化の必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 山形市、山辺町、寒河江市を結ぶ道路ネットワークの整備を要望する【山辺町】 ・ 都市間の連携強化のために周辺の広域ネットワークの整備を推進してほしい【寒河江市】 ・ 企業誘致の観点からみれば、山形中央インター産業団地へのアクセスも良くなることが見込まれるルートを検討して欲しい【山形市】
渋滞の緩和	<ul style="list-style-type: none"> ・ 交通の流れが良くなるルートが望ましい【経済団体】 ・ 国道112号は、2車線であるため工事による渋滞などが頻発している、目的地への到着が遅れることがないようにしてほしい【タクシー協会】 ・ 緊急搬送時の追越を安全・迅速に行えるよう、ルート検討をお願いしたい【消防】
交通安全	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国道112号の中野交差点の交通量が減少すれば通学時の危険性が低下すると予想されるため、国道112号の交通量が減少するルートが望ましい【教育機関】 ・ 通学路は変わらないので、現道の危険性を減少させるルートが望ましい【教育機関】 ・ 児童には、国道112号は歩道も狭く交通量が多いため、自転車は、下車して押すように指導している。【教育機関】 ・ 交通事故対策として、交差点の数は少ないルートが望ましい【交通管理者】
冬期の交通状況改善	<ul style="list-style-type: none"> ・ 冬期に安定的に走行できる路線を整備してほしい【タクシー協会】 ・ 安定的な物流を支えるためにも、冬期の交通状況を考慮したルートを検討して欲しい。【物流事業者】 ・ 国道112号は轍が酷く、迅速な救急搬送が困難であり、積雪時に円滑に救急搬送が可能なルートの検討を望む【消防】 ・ 積雪時は国道112号を利用する従業員は渋滞を見越して早出を強いられるなど負担が大きいため、冬期の信頼性の高いルートを検討して欲しい。【製造業】 ・ 国道112号は信頼性が低く、特に積雪時は通常時よりバス利用者が増加するが、渋滞によりサービスが大きく低下する。降雪時に安定的に走行できるルートの検討を進めて欲しい。【バス事業者】
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 既存の土地利用、施設、文化財への影響が少ないルートが良いと考える【教育機関】 ・ 当該地域は優良な田園地帯であるため、出来るだけ田畑を残すような道路にしてほしい【製造業】 ・ 周辺に家屋がなく生活環境への影響が少ないルートが良いと考える【教育機関】 ・ 事業の早期完成が最も重要であると考えている【中山町】 ・ 影響する家屋が多いと用地買収のリスクが高く、事業が長期化すると考える【製造業】

2-6. 第2回意見聴取の結果 とりまとめ

○「交通の円滑化」、「交通安全の確保」、「道路ネットワークの強化」が重視され、加えて「コスト」「早期整備」に寄与する道路が求められている。

調査対象 意見聴取結果からみる国道112号山形中山道路に対する意見

住民アンケート

【ルート帯選定時に重視すべき項目】

■ 選択式回答

- ・国道112号の渋滞を緩和する道路となっていること ⇒ **交通の円滑化**
- ・交通事故の減少に寄与する道路となっていること ⇒ **交通安全の確保**
- ・地域連携を支える道路ネットワークとなっていること ⇒ **道路ネットワークの強化**
- ・事業費（コスト）が安いこと ⇒ **コスト**

■ 自由意見

- ・渋滞の解消に関する意見 ⇒ **交通の円滑化**
- ・早期整備に関する意見 ⇒ **早期整備**
- ・整備方針 ⇒ **A案「バイパス案」への肯定的な意見**
- ・現道の交通安全に関する意見 ⇒ **現道の安全性確保**

【選択式回答】※〇は、回答者数に対する割合

項目	回答者数	割合
国道112号の渋滞を緩和する道路となっていること	12,408	49%
交通事故の減少に寄与する道路となっていること	9,912	40%
地域連携を支える道路ネットワークとなっていること	9,454	38%
事業費（コスト）が安いこと	8,673	35%
道路整備により影響する家屋が少ないこと	4,776	19%
生活環境（大気・騒音・振動）への影響が少ないこと	4,326	18%
工事に伴う施工の影響が少ないこと	3,973	15%
自然環境（動植物等の生態系）への影響が少ないこと	2,178	9%
土地利用、施設、文化財への影響が少ないこと	1,607	7%
その他	258	1%

回答者数:24,813、総意見数:57,563

企業・団体アンケート

【ルート帯選定時に重視すべき項目】

■ 選択式回答

⇒事業費（コスト）に関する意見が多くなっているが、**おおむね住民アンケート結果と同じ視点での意見**

■ 自由意見

- ・早期整備に関する意見 ⇒ **早期整備**
- ・冬期の交通状況改善に関する意見 ⇒ **雪に配慮した道路構造**

【選択式回答】※〇は、回答者数に対する割合

項目	回答者数	割合
国道112号の渋滞を緩和する道路となっていること	58	56%
交通事故の減少に寄与する道路となっていること	42	41%
地域連携を支える道路ネットワークとなっていること	42	41%
事業費（コスト）が安いこと	41	40%
道路整備により影響する家屋が少ないこと	20	19%
生活環境（大気・騒音・振動）への影響が少ないこと	15	17%
工事に伴う施工の影響が少ないこと	17	17%
自然環境（動植物等の生態系）への影響が少ないこと	7	7%
土地利用、施設、文化財への影響が少ないこと	2	2%
その他	0	0%

回答者数:100、総意見数:247

企業・団体ヒアリング

【政策目標に関連した具体的課題、整備効果等の意見】

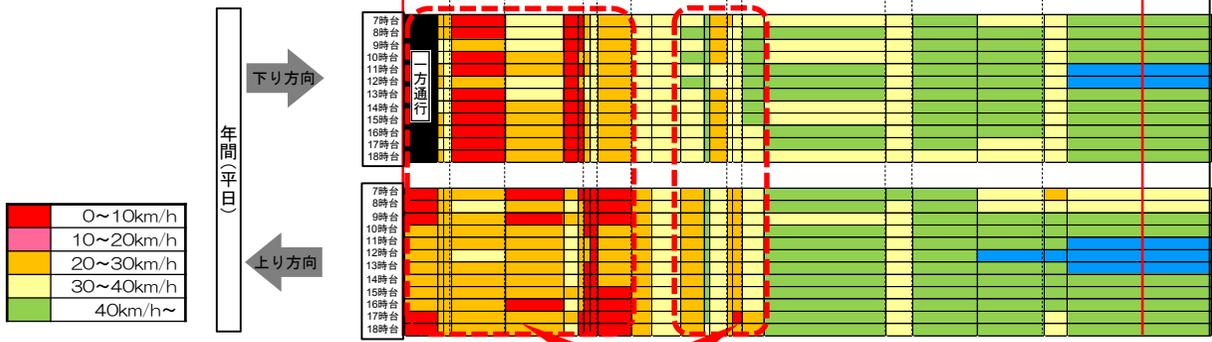
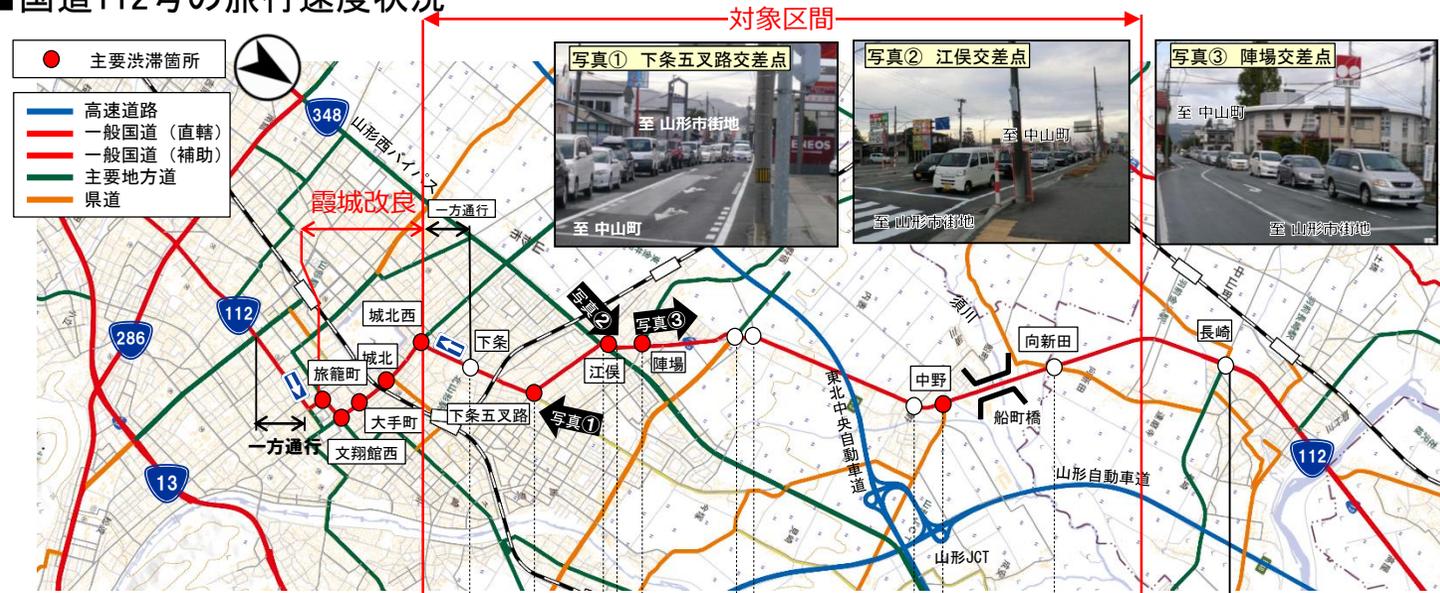
⇒地域の道路ネットワークの強化、渋滞の緩和、交通安全、冬期の交通状況の改善など、概ねアンケート結果と同じ視点での意見

意見聴取結果からみる「ルート帯選定時に重視すべき項目」

- 【ルート帯選定時に重視すべき項目】**
- ・「**交通の円滑化**」、「**交通安全の確保**」、「**道路ネットワークの強化**」、「**コスト**」、「**早期整備**」
- 【計画検討にあたり配慮すべき項目】**
- ・「**現道の安全性確保**」、「**雪に配慮した道路構造**」

- 意見聴取結果では、「国道112号の渋滞を緩和する道路となっていること」を求める声が多く寄せられた。
- 国道112号は、対象区間内で主要渋滞箇所が5箇所存在しており、その箇所を中心に速度が低下している。
- 下条五叉路交差点、江俣交差点においては、朝夕のピーク時間のみならず、終日混雑している。
- 日中を通じた交通集中、変則交差点による影響、右折車による直進交通の阻害が速度低下の要因となっている。
- 地域の生活交通を担う国道112号では、渋滞の緩和が図られるルート案が望まれている。

■国道112号の旅行速度状況



■下条五叉路の速度低下原因



■江俣交差点の速度低下原因



地域意見聴取・ヒアリング結果より
 【地域企業意見】
 国道112号は、山辺町や中山町へ向かう主要な国道であるため利用しているが、市街地を通過しており、朝夕の渋滞が課題である。

終日混雑が発生

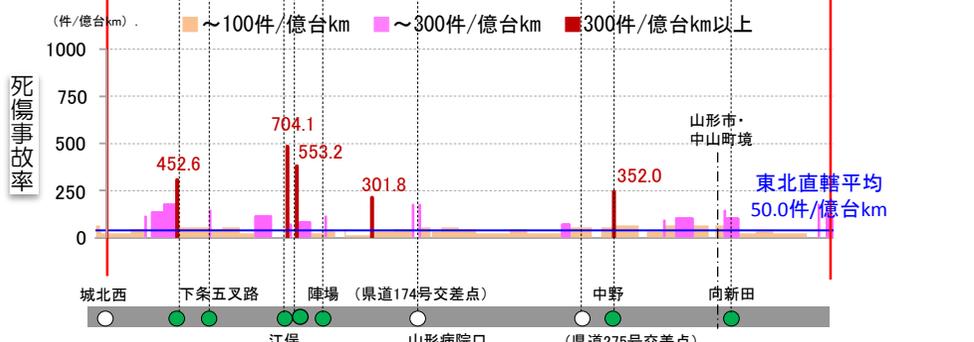
- 意見聴取結果では、「交通事故の減少に寄与する道路となっていること」、「現道の安全性確保」を求める声が多く寄せられた。
- 対象区間は多くの区間で死傷事故率が東北地方の直轄国道の平均を上回り、事故危険区間が7箇所存在している。
- また、人家連担地域であるため、細街路や沿道からの出入りにより、出会い頭の事故の割合が直轄平均の約1.5倍である。
- 冬期の死傷事故率は夏期に比べて約1.2倍に上昇しており、冬期の安全で円滑な移動路の確保が課題である。

■死傷事故の発生状況

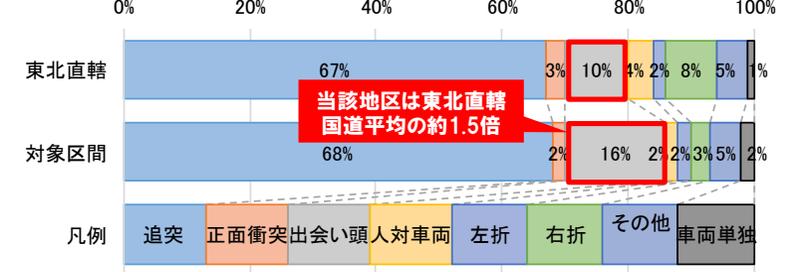


地域意見聴取・ヒアリング結果より【地域住民意見】交通量に対し、道路の幅員が狭い区間が多いと思われ、歩行者にとっても危険が多いと感じる。

●事故危険区間※
 ※事故危険区間とは、安全安心な道路環境を実現するため、「選択と集中」、「住民参加・協働」により重点的、集中的に継続的な事故対策を進める区間

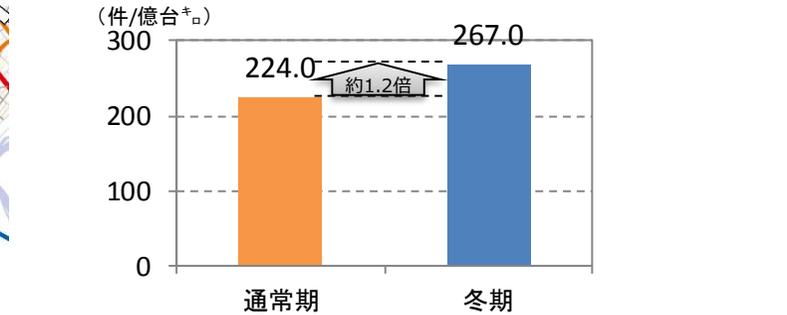


■死傷事故の内訳の比較



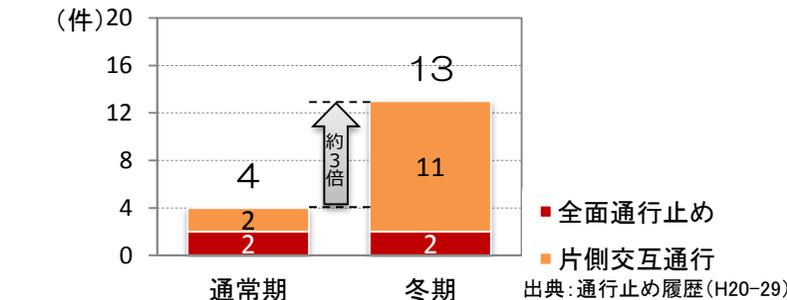
出典：イタルダ事故データ(H25-28)

■国道112号DID地区※の季節別死傷事故率



出典：イタルダ事故データ(H25-28)

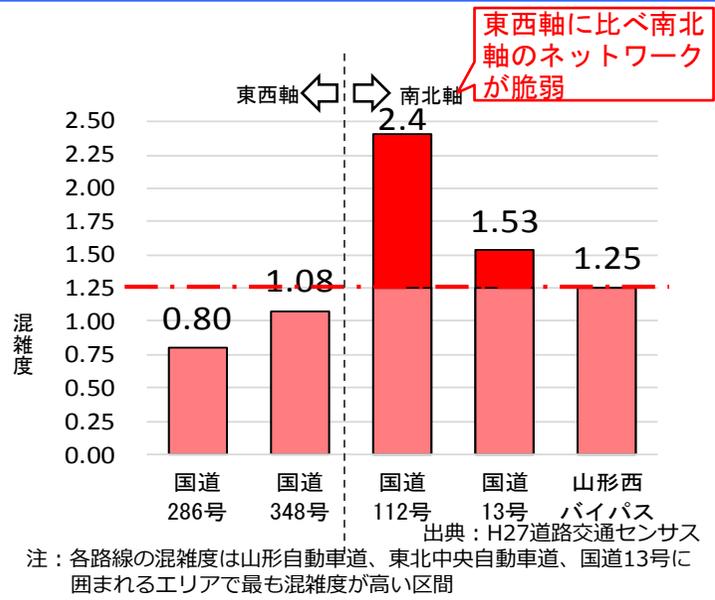
■対象区間の交通事故による通行止め発生件数の推移



出典：通行止め履歴(H20-29)

- 意見聴取結果では、「地域連携を支える道路ネットワークとなっていること」を求める声が多く寄せられた。
- 対象地域周辺の幹線道路は、地域内を南北に伸びる国道13号、国道112号、山形西バイパスの混雑度が1.25を越え、南北軸のネットワークが脆弱であり、幹線道路ネットワークとしての支障となっている。
- 山形市の市街地では、北側エリアに主要渋滞箇所が多く存在しており課題が多い。
- 広域の物流交通や地域の生活交通を担う国道112号では、現道の課題を回避するルート案が望まれている。

■対象区間周辺の幹線道路の混雑度



混雑度と交通状況

- 1.00未満：道路が混雑することなく、円滑に走行できる。
- 1.00-1.25：道路が混雑する可能性のある時間帯が1~2時間あるものの、何時間も混雑が連続する可能性は小さい。
- 1.25-1.75：ピーク時間帯はもとより、ピーク時間を中心として混雑する時間帯が加速度的に増加する可能性が高い状態。
- 1.75以上：慢性的混雑状態

出典：道路の交通容量

地域意見聴取・ヒアリング結果より
【地域住民意見】
国道112号は、交通混雑が多く発生しており、地域間を連携する道路でありながら脆弱であり、住民生活や企業活動の負担となっている。

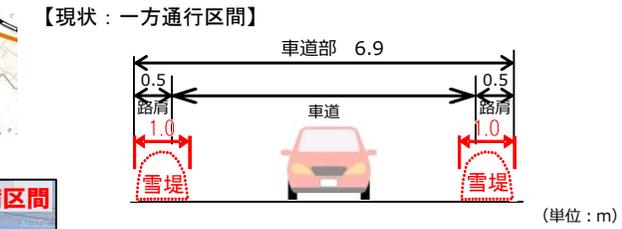
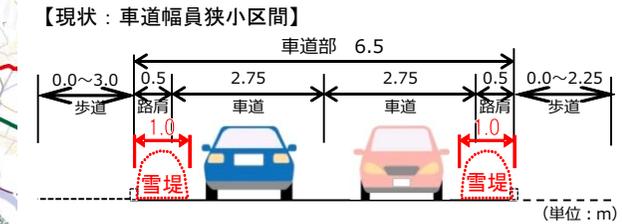
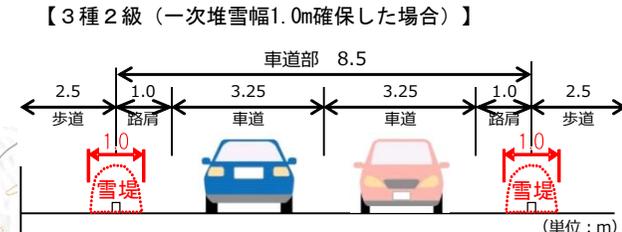
2-7. 地域特有の道路課題と意見聴取結果（冬期課題）

- 意見聴取結果では、「雪に配慮した道路構造」を求める声が多く寄せられた。
- 対象区間は幅員狭小であり多くの区間で堆雪幅が不足しているため、冬期は雪堤によりさらに幅員が狭まる。そのため、安全で円滑な通行が困難となるため、冬期の安全で円滑な移動路の確保が課題である。

■国道112号の道路構造（幅員、歩道整備状況）



■幹線道路として求められる道路構造と現状



3. 対応方針（原案）の検討

3-1. ルート帯案の検討（政策目標と対策案）

- 当該地域の道路交通の現況や、地域の課題等をふまえ政策目標を設定し、これを達成するための機能を有する対策案を複数設定。
- 対策案を検討する上では、沿線住民の土地利用および生活環境や自然環境、コストなどに配慮。

○当該地域の政策目標

- 地域・道路の状況と課題
- 地域の将来像
- 住民や企業等への意見聴取結果

政策目標

以下の項目を目的に、安全・安心で円滑な走行空間を確保するとともに、地域・産業振興を支援する道路ネットワークの確保

- 地域連携を支える道路ネットワークの強化
- 交通の円滑化
- 交通安全の確保

○対策案を検討する上での配慮事項

- 自然環境、生活環境**
 - ①土地利用、施設、文化財への影響
 - ②生活環境への影響
 - ③自然環境への影響
 - ④施工性
 - ⑤影響する家屋数
- コスト**
 - ①整備に関する費用
- その他**
 - ①早期整備
 - ②現道の安全性確保
 - ③雪に配慮した道路構造

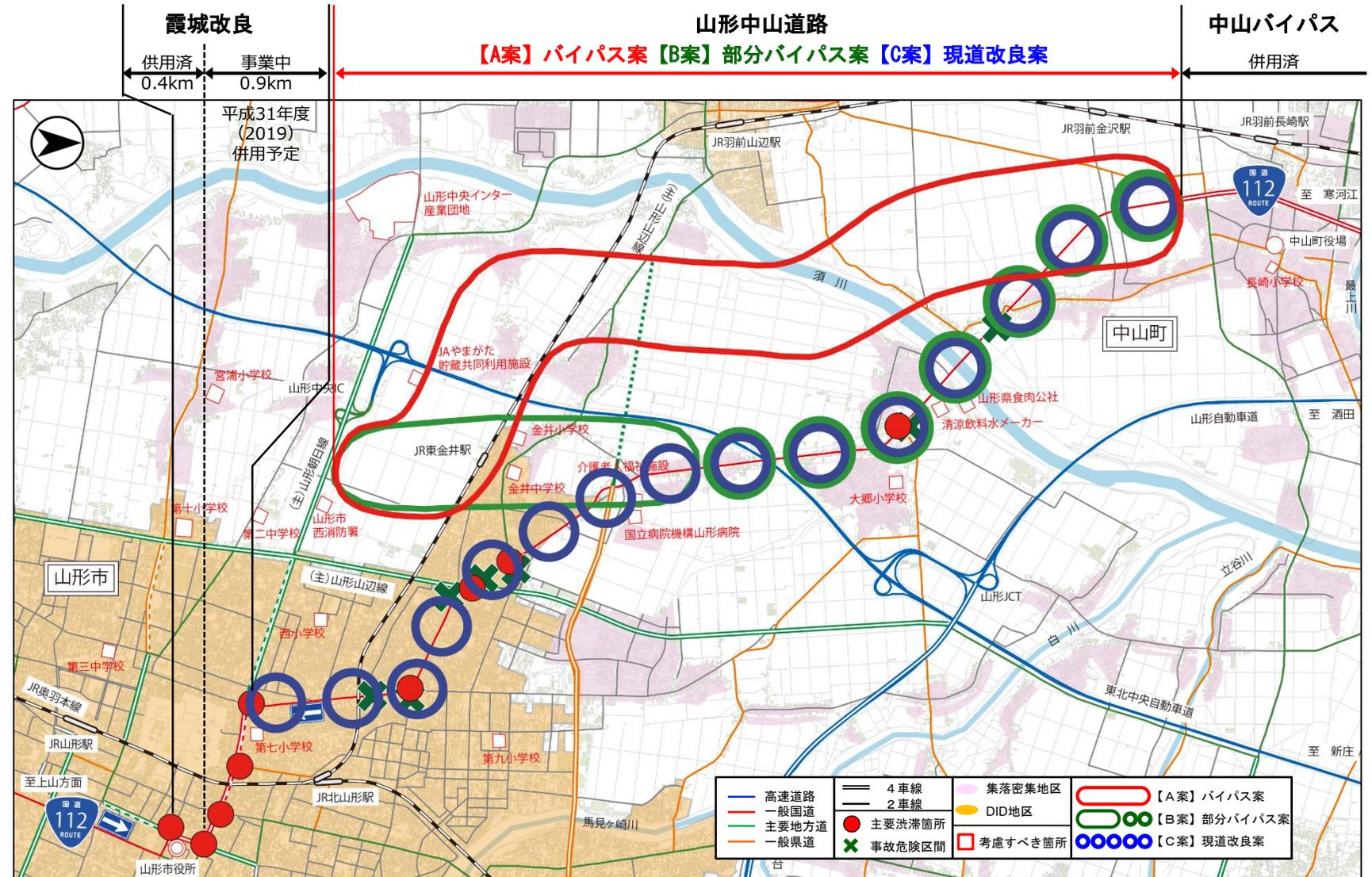
●政策目標を達成するための考えられる対策案

- 【A案】バイパス案**
バイパス整備により、すべての主要渋滞箇所や事故危険区間を回避し、交通容量を拡大する案
- 【B案】部分バイパス案**
市街地区間は集中する主要渋滞箇所や事故危険区間を回避するバイパスとし、DID地区外は現道拡幅により交通容量を拡大する案
- 【C案】現道改良案**
現道(対面2車線)を4車線に拡幅し、交通容量の拡大、安全性を確保する案

3-1. ルート帯案の検討（対策案（ルート帯案）の比較）

○政策目標を達成するための対策案について、主要なコントロールポイントに配慮し3案を設定。

- 【A案】** バイパスの整備により、すべての主要渋滞箇所や事故危険区間を回避し、交通容量を拡大する案
- 【B案】** 市街地区間は集中する主要渋滞箇所や事故危険区間を回避するバイパスとし、DID地区外は現道拡幅により交通容量を拡大する案
- 【C案】** 現道（対面2車線）を4車線に拡幅し、交通容量を拡大する案



3-1. ルート帯案の検討（複数案の比較・評価）

○【A案】バイパス案は、【B案】部分バイパス案や【C案】現道改良案に比べ、政策目標の達成が見込めるほか、影響する家屋数が少なく、事業期間が最も短期となることが想定される。加えて事業費が最も安価である。

評価項目	【A案】バイパス案	【B案】部分バイパス案	【C案】現道改良案	
ルート概要	バイパス整備により、すべての主要渋滞箇所や事故危険区間を回避し、交通容量を拡大する案	市街地区間は集中する主要渋滞箇所や事故危険区間を回避するバイパスとし、DID地区外は現道拡幅により交通容量を拡大する案	現道（対面2車線）を4車線に拡幅し、交通容量を拡大する案	
政策目標	地域連携を支える道路ネットワークの強化	◎ 山形市街地や山形中央インター産業団地と、山形都市圏北西部を全線バイパスで結び、新たなルートが形成され、地域連携を活性化させる道路ネットワークが強化される	○ 山形市街地や山形中央インター産業団地と、山形都市圏北西部を一部バイパスで結び、残る区間を現道拡幅することで、地域連携を活性化させる道路ネットワークが強化される	○ 現道拡幅により地域間連携を活性化させる道路ネットワークが強化される
	交通の円滑化	◎ 全ての主要渋滞箇所を回避することで、交通の円滑化が確保され、国道112号（現道）全線（約9km）で交通量が低減し、渋滞の緩和が期待できる	◎ 一部の主要渋滞箇所を回避することで交通の円滑化が確保され、国道112号（現道）の一部バイパス並行区間（約3km）で交通量が低減し、渋滞の緩和が期待できる	○ 現道拡幅により処理できる交通量が増加するものの、市街地部の交差点数は変わらないため、渋滞の緩和は他案に比べ劣る
	交通安全の確保	○ 通過交通がバイパスに転換することで、現道112号（現道）の交通量が低減し、交通事故の減少が期待できる	○ 現道改良区間において、4車線拡幅と中央分離帯や歩道の整備により、冬期の堆雪幅や歩行者・自転車の通行空間が確保され、交通事故の減少が期待できる。	◎ 全線の4車線拡幅と中央分離帯や歩道の整備により、冬期の堆雪幅や歩行者・自転車の通行空間が確保され、交通事故の減少が最も期待できる。
道路整備による影響	土地利用、施設、文化財への影響	○ 一部圃場の分断があるが、圃場に沿った位置を通過するため、影響は少ない	△ 圃場に沿った位置を通過しないこと、および沿道施設や小学校へ近接することから影響が大きい	△ 市街地の沿道施設にかかることから影響が大きい
	生活環境への影響	◎ 市街地を回避しており、地域の分断や騒音振動等の生活環境面への影響が最も小さい	○ 市街地を一部通過しており、地域の分断や騒音振動等の生活環境面への影響が残る	△ 交通量の増加に伴い、騒音振動等の生活環境面の悪化が懸念される
	自然環境への影響	△ 主に田園地帯を通過するため、自然変化は最も大きい	○ 田園地帯の通過は比較的短いため、自然変化は小さい	◎ 全線で現道を改良するため、自然変化は最も小さい
	施工性	◎ 現道での施工が少なく交通規制が少ない 支障物件が少なく、施工性が最も優れる	○ 現道改良区間は、交通規制の伴う施工となる 一部沿道集落を通過し、支障物件の移転を伴うため、施工性はA案より劣る	△ 全線現道の交通規制を伴う施工となる 人家連担区間を通過し、支障物件の移転も多く、施工性が最も劣る
影響する家屋数	◎ 約10棟	△ 約200棟 (A案よりも事業期間を要することが想定される)	△ 約360棟 (A案よりも事業期間を要することが想定される)	
延長	約8 km	約9 km (バイパス約3 km、現道改良約6 km)	約9 km	
コスト	◎ 約170～210億円	○ 約240～280億円	△ 約270～310億円	

【凡例】 ◎：改善する・満足する ○：一部改善する・やや満足する △：改善しない・満足しない

※A案、B案のコストについては、バイパス区間に並行する現道の対策費用は含まない

3-2. 対応方針（原案）の検討

沿線住民・沿線企業への意見聴取、企業・団体等へのヒアリングの主な意見

【ルート帯案について】

- アンケート調査では、政策目標である「**地域連携を支える道路ネットワークの強化**」「**交通の円滑化**」「**交通安全の確保**」に加え、「**コスト**」に関する意見が多く寄せられた。
- 自由意見では、「**早期整備**」を望む声に加え、整備方針として「**【A案】バイパス案への肯定的な意見**」が多く寄せられた。
- また、現道の安全性確保を求める意見も多く寄せられた。
- ヒアリング調査においても政策目標である「**地域連携を支える道路ネットワークの強化**」「**交通の円滑化**」「**交通安全の確保**」に関する意見が多く、「**冬期道路交通の確保**」についての意見も寄せられた。

政策目標の達成見込み及びルート帯選定にあたって重視すべき項目について、意見聴取結果を踏まえて評価



ルート帯案の考え方

- 地域の課題を解決するための政策目標である「**地域連携を支える道路ネットワークの強化**」、「**交通の円滑化**」、「**交通安全の確保**」に加え、「**コスト**」や「**早期整備**」にも寄与し、対応策として最も優れている**【A案】バイパス案**とする。
- 道路構造については、**冬期道路交通が確保されるよう、道路幅員に配慮した検討**を行う。

その他

- 現道の安全性確保を求める意見が多かったことから、関係機関等との調整を踏まえ、歩道整備事業や交差点改良事業などの**必要な交通安全対策事業も継続して実施**。

4. 自治体への意見照会結果

4. 自治体への意見照会結果【対応方針（原案）に対する意見】

■意見照会の回答

自治体名	意見
山形県	<p>一般国道112号山形中山道路（山形市城北～中山町達磨寺間）における対応方針（原案）について同意します。</p> <p>当該区間は、通勤・通学等の日常生活における交通が集中する区間であり、一方通行区間、幅員狭小や歩道未整備区間、変則交差点等が存在し、交通混雑が多く、交通事故の危険性が高い区間です。山形中山道路は、地域連携を支える道路ネットワークの強化、交通の円滑化、交通安全の確保の観点から不可欠な道路です。</p> <p>山形県としては、当該区間の整備効果の更なる発現に向け、（主）山形山辺線（城北～西田）について、周辺の道路交通状況を踏まえ4車線化を検討するとともに、（主）山形山辺線（吉野宿工区）の早期整備など、周辺道路の整備を推進してまいります。</p> <p>つきましては、山形中山道路の一日も早い完成に向け、調査を促進されますよう、特段の御配慮をお願いします。</p>

道 整 第 308 号
平成31年 2月13日

国土交通省東北地方整備局長
高 田 昌 行 殿

山形県知事 吉村 美栄子 

道路事業の計画段階評価に係る意見照会について（回答）

平成31年2月8日付け、国東整道一計第46号で意見照会のありました、一般国道112号山形中山道路（山形市城北～中山町達磨寺間）における対応方針（原案）について同意します。

当該区間は、通勤・通学等の日常生活における交通が集中する区間であり、一方通行区間、幅員狭小や歩道未整備区間、変則交差点等が存在し、交通混雑が多く、交通事故の危険性が高い区間です。山形中山道路は、地域連携を支える道路ネットワークの強化、交通の円滑化、交通安全の確保の観点から不可欠な道路です。

山形県としては、当該区間の整備効果の更なる発現に向け、（主）山形山辺線（城北～西田）について、周辺の道路交通状況を踏まえ4車線化を検討するとともに、（主）山形山辺線（吉野宿工区）の早期整備など、周辺道路の整備を推進してまいります。

つきましては、山形中山道路の一日も早い完成に向け、調査を促進されますよう、特段の御配慮をお願いします。

担 当 山形県県土整備部
道路整備課長 安食 稔也
連絡先 023-630-2156

5. 対応方針（案）のまとめ

5-1. 対応方針（案）

1. 道路整備の必要性

【理由】	【地域の意見聴取の結果】	
政策目標を実現できる道路整備を検討 【政策目標】 ○地域連携を支える道路ネットワークの強化 ○交通の円滑化 ○交通安全の確保	地域の課題 国道112号の課題 道路整備の必要性 ルート検討において重視すべき事項 自治体の意見	○「 地域間を連携する道路が脆弱 」について道路利用者の多くが問題と認識。 ○「 慢性的な交通混雑 」「 交通事故多発箇所が存在 」について道路利用者の多くが問題と認識。 ○住民や企業など、回答いただいた 道路利用者の多くが、道路整備の必要性を感じている。 ○地域が感じてるルート検討において重視すべき項目は、「 国道112号の渋滞を緩和する道路 」、「 交通事故の減少に寄与する道路 」、「 地域連携を支える道路ネットワーク 」が多い。 ○その他、「 コスト 」、「 早期整備 」も重視すべき項目として挙げられている。 ○山形県から案に賛成するとともに、 早期事業化を要望する意見 をいただいている。

2. 対応方針（案）

● 計画及びルート帯案

すべての主要渋滞箇所や事故危険区間を回避し、地域連携を支える道路ネットワークの強化にも寄与するバイパス案とする。

【理由】

- 地域の課題を解決するための政策目標（「地域連携を支える道路ネットワークの強化」、「交通の円滑化」、「交通安全の確保」）を達成。
- 影響する家屋数が少なく、事業期間や経済性の面でも優れている。
- 地域の意見聴取結果で得られた地域のニーズに応えられる。

3. その他

- 詳細なルート・構造の検討にあたっては計画周辺の上位計画等との調整を図り、生活環境への影響、移転等が必要な家屋数をできる限り少なくするとともに、コスト縮減、年間を通して円滑な交通が確保されるよう、道路幅員に留意して検討を行う。
- 関係機関等との調整を踏まえ、現道の歩道整備事業や交差点改良事業などの必要な交通安全対策事業は継続して実施する。

